

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくり
などについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.10

株式会社 第一鉄道

離れて気が付く地元の心地よさ

— 地元で見つけた自分が本当に成長できる環境 —

JR東日本グループのユニオン建設株式会社の協力会社として軌道（鉄道）工事に携わり、2001年から北上市を拠点に事業を展開。社会インフラとして欠かせない鉄道の安全・安定輸送を守り支えています。

<https://daiichi-tetsudo.com/>

所在地：岩手県北上市相去町田抱59-14

離れて気が付く地元の心地よさ

－ 地元で見つけた自分が本当に成長できる環境 －

#鉄道の安全を守る仕事

#家族や友人がいる地元

#Uターン

#スケジュール管理

#北上線

#報・連・相の徹底

#感謝の手紙

#安定した仕事量

#安全と安定輸送を守ること地域に貢献



たかはし あやな
高橋 礼奈(29)

勤続3年/現場事務/
宮城県からUターン

高橋さん) 宮城県にある大学を卒業後、そのまま宮城県のハウスメーカーに就職して住宅営業の仕事を2年半ほどしていたのですが、仕事がハードで体調を崩してしまったこともあって家族と友人のいる地元に戻ろうと思いました。ハウスメーカーの営業の仕事は「自分に向いていないんじゃないか」と悩んでいたのも、戻ってからは接客や事務など営業以外の仕事も経験しました。それで「事務の仕事が自分に向いている」と思って、本格的に事務の仕事を探そうと思ったとき、この会社で働いている友人から誘われました。

弊社では公共交通機関である鉄道の安全を守る仕事をしていて、毎日さまざまな軌道工事を行っています。軌道工事といっても、例えば「レール交換」の工事では「レールを現場まで運ぶ作業」や「レールを研磨する作業」など「レール交換」を行うために付随する作業が多く発生します。そういった作業すべてを工事管理者が実績としてまとめ、私はそれを集計して工事進捗の確認と売り上げの計算を行っています。

ハウスメーカーで働いていたときは平日休みで、それ以外の休みも全然取れなかったのも、休日に人と気軽に会うことができず、リフレッシュもなかなかできませんでした。何かあったときに助けてくれる家族や気軽に話せる友達がいる地元は、離れて暮らしてみてもその良さを改めて実感するようになりました。

最初は現場の言葉もわからなくて苦労しましたが、今では書類をつくる時に「これはどうすればいい？」と



▲ 社員みんなで考えたポスター。東北本線の車内に掲示中。

私に聞いてくれる方も増えて嬉しいですし、自分の成長を実感するときでもあります。単純なので、褒められたり頼りにされたりするとうれしいです（笑）

私は仕事をするうえで大切にしていることが2つあって、一つ目はスケジュール管理で、毎月、業務ごとに終わらせる日を決めて作業を行っています。また、作業が終わったら色付けして進捗がひと目でわかって作業漏れがないように工夫しています。二つ目は、報・連・相の徹底です。現場の方や元請けさんと1人で打ち合わせする機会が多いので「私だけが知っている」という状態にならないように、早め早めに会社に報告するようにしています。そうすることで「あの書類終わった？」という感じで上司から聞いてもらえたりもするので、作業漏れの防止にもつながっています。

今の職場は、みなさんフレンドリーな方が多いので、私もわからないことも気軽に聞くことができました。それに、忙しいときは労いの言葉をかけてくれたり、旅行に行ったら「どうだった？」と聞きにきてくれたりして、それくらいみなさん親切で仲がよいですし、雰囲気も良いと思います。



それに、さまざまな資格を取得してスキルアップを図れることが魅力で、資格取得に関わる費用は会社がすべて負担してくれますし、資格を取得すればできることも増えて、やりがいもひろがっていくと思います。それに土日以外の日でも休みが取りやすいのも魅力です。現場の人たちも率先して休んでいて、「休みは何をした」という話が聞けるのも楽しいです。

軌道工事の現場事務の仕事を担当してもうすぐ3年になりますが、工事の種類が本当にたくさんあって、まだまだすべてを理解できているわけではありません。今は軌道関係の仕事経験が豊富で現場のことも詳しいベテランの方と一緒に現場事務の仕事を進めています。その方にも学びながら今後は現場事務の仕事をして1人でもできるようにしていきたいです。



竹田所長 軌道の仕事は建設業のなかでも特殊で、その現場事務を担当するとなると、わからないことだらけで大変だと思います。でも、高橋さんは物怖じしないというか、フレンドリー過ぎるというか（笑）疑問に感じたことはすぐに質問したり確認して、その場で解決して仕事を進めていくので、現場事務の仕事に責任感を持って一生懸命取り組んでいるのが周りにも伝わっていると思います。

それに、元請けさんのところに週に1度は1人で出かけて行って打ち合わせもしてくるフットワークの軽さは会社としても助かりますし、元請けさんの信頼も厚いので頼もしい存在です。

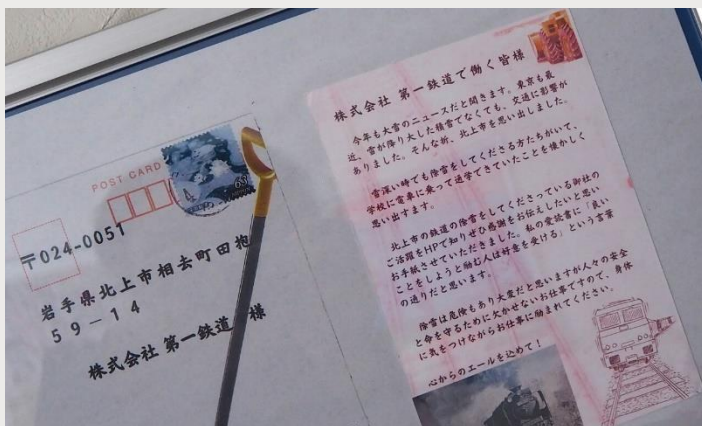
会社として資格取得を応援しているので、例えば簿記の資格とか興味のある資格があったらどんどんチャレンジしていただきたいですね。

上司の
ただ たけし
竹田 剛さん
にもお話聞きました！



高橋さん 私も最初は簿記の資格を取得しようと思っていたんですけど、現場事務の仕事をしていて、今はExcelの資格を取りたいなと思っています。

竹田所長 あ、いいね！そこを覚えてもらえると俺もうれしい！パソコン弱いんで(笑)



▲社内に大切に展示されている感謝の手紙。

竹田所長 この前、高校時代に北上線を利用していた方から「いつも除雪してくれてありがとうございました」という感謝の手紙をいただいて感動したんですよ(笑) 東北本線はもちろん存続が危ぶまれている北上線も地元の人にとっては大切な交通手段ですから、今ではその安全と安定輸送を守ることによって地域に貢献できる誇りある仕事だと思っています。

東日本グループの仕事をしているので仕事量が安定していて、途切れることがないので安心して働ける点が仕事の魅力ですね。キツイ仕事ではありますが、弊社は機械化に積極的で、軌道業界で初めて導入したアタッチメントにより、従来10分以上かかっていた作業を1~2分で完了できるようになり、業界関係者が見学に来るほどです。そうした新しいことにも挑戦しながら、働きやすい職場づくりにも取り組んでいるので、小さい会社ではありますが、まだまだ伸びしろがあると思います。手当の多さは同業他社と比べても負けていないと思いますし、休みを取りやすい環境づくりも会社として取り組んでいて、現在では現場の社員も積極的に休みを取るようになっていきます。

高橋さん そういえば所長代理もお子さんが生まれるので「プレパパ・ママ教室に参加する」って今日お休みですよ。

竹田所長 そうそう(笑) そういう意味では弊社は小さな子どもがいる共働きの家庭が多いんですが、夜勤の仕事が主になるので、子どもが急に熱を出したりして奥さんが日中仕事を休めないときにお父さんが病院に連れて行くという役割分担ができていて「便利」という話もよく聞きます。そういう部分も魅力かもしれないですね(笑)

高橋さん 所長も結婚記念日に休みを取って花巻温泉に毎年行くんですね。

竹田所長 4月にね(笑)